



Nagoya City University SDGs Center



名古屋市立大学
SDGsセンター
開設!

名古屋市立大学SDGsセンターとは？

名古屋市立大学SDGsセンターは、本学の研究、教育、医療の成果等の資源を活用し、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の達成に向けた活動の推進を行うことを目的として、2021年5月1日に設立されました。

SDGsセンター設立前にも、本学では各研究科・研究センターなどにおいて、SDGsに関する活発な活動を進めてきました。教育や医療についてはもちろんですが、人文社会学部を中心としたESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)の実践、生物多様性研究センターにおける生物多様性の理解と生態系の保全を目指した研究、都市政策研究センターにおける都市が抱える様々な問題の解決を目指した研究など、大きな成果を挙げております。

今後は、SDGsセンターを本学におけるSDGs推進のプラットフォームとして、SDGs未来都市に選定された名古屋市と協働で、行政、産業界、金融界等の各機関との連携を深めていきたいと考えています。本学における研究、教育、医療の成果等の資源を活用して、各機関とのパートナーシップを強化することにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

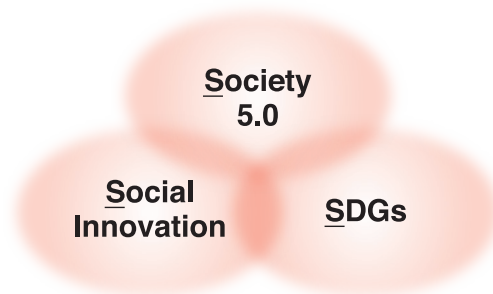


名古屋市立大学SDGsセンター長
林 秀敏
(薬学研究科 教授)

名古屋市立大学におけるSDGsの位置づけ

本学が進むべき方向性を長期的な視点で示すために策定した「名市大未来プラン2021」(2021年2月策定)において、本学の今後の全ての活動において意識すべき重要な視点として「3つの視点(3S)」を設定しました。そのうちの1つがSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)です。

本学では、SDGsの理念を踏まえながら、「名市大未来プラン2021」の実現を目指しています。



THEインパクトランキングにおける評価

2021年4月にイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education(THE)」が発表したTHEインパクトランキング2021において、本学は総合ランキングで世界401-600位、国内同率17位(3年連続公立大学1位)にランクインしました。

このランキングは、国連が掲げる「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals(SDGs)」に対して、大学がいかに取り組み、社会に影響を与えているかを可視化したランキングです。第3回目となるTHEインパクトランキング2021では、総合ランキングに1,115大学がランク付けされました。

SDG別のランキングでは、本学は特にSDG5「ジェンダー平等を実現しよう」において国内同率2位、SDG3「すべての人に健康と福祉を」において国内同率6位など、高い評価を受けました。



代表的な取り組み

■学生の活躍

SDGs IDEA FORUM 2020で本学学生が最優秀賞、優秀賞を受賞!

SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決することを目指して開催された「SDGs IDEA FORUM 2020」において、本学から参加した「NCU グローバル・ジャスティス・プロジェクト」(人文社会学部3年・4年)が最優秀賞を、「Act of New Ring」(人文社会学部1年)が優秀賞を獲得しました。 ※学年は受賞当時



【最優秀賞】

NCU グローバル・ジャスティス・プロジェクト『デボジロウの冒険—プラスチック容器のデポジット新提案』(人文社会学部3年・4年)



【優秀賞】

Act of New Ring『みんなでつくろう地域の輪～絵本を通して見る世界～』(人文社会学部1年)

■教育

ESDを通じたSDGs達成へのコミットメント

ESD (Education for Sustainable Development)

自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの「持続可能な生き方／あり方」を捉え直す教育。

本学の人文社会学部では、ESDとは何か、また持続可能な社会とはどのような社会であるのかを学ぶESD基礎科目が設定されており、1年生から履修することができます。

ここでは、持続可能性に関する諸課題をまずは知ること、自身の「当たり前」を捉え直すことに挑戦します。国際社会で問題視される持続可能性に関連する課題を地球規模の課題と地域課題に分け、人間と自然、自己と他者、個人と社会という3つの観点から捉え直します。ここで扱う12テーマが私たち一人ひとりにどのように関わっているのかを考えます。

【ESD基礎科目で扱うテーマ】

	地球規模の課題(前期)	地域課題(後期)
人間と自然	グローバル経済と環境保全	都市開発と自然との共生
自己と他者	多文化共生	自文化理解
個人と社会	人の移動とグローバル・シティズンシップ	マイノリティとの共生

■研究

SDGs達成に向けた積極的な研究

創造性豊かなトップレベルの研究の実践

本学では、様々な分野の優れた研究者が多数在籍しています。7研究科における積極的な研究を通して、SDGs達成に貢献することを目指します。

研究例 高知県立牧野植物園の植物コレクションから新たなメカニズムの抗がん剤として期待される成分の発見

本学薬学研究科細胞情報学分野の林秀敏教授、生薬学分野の牧野利明教授、高知県立牧野植物園の水上元園長(研究当時)、名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学分野の飯田真介教授らの共同研究グループは、高知県立牧野植物園が保有する植物ライブラリーの 小胞体ストレス応答(unfolded protein response: UPR)抑制活性をスクリーニングした結果、*Periploca calophylla*の茎から単離された「ペリプロシン」が、UPRを抑制することを世界に先駆けて発見しました。

UPRはタンパク質の成熟に重要な細胞内小器官「小胞体」内に不完全なタンパク質が蓄積し機能不全に陥ると、これらを解消する目的で誘起さ

れる細胞内ストレス応答です。その制御異常は、がんや糖尿病、神経変性疾患など様々な疾病の発症や進行につながると考えられています。



UPRを抑制する抽出液とその活性成分ペリプロシンの単離



桜山(川澄)キャンパス

医学研究科・医学部
看護学研究科・看護学部



滝子(山の畑)キャンパス

経済学研究科・経済学部
人間文化研究科・人文社会学部
理学研究科・総合生命理学部



田辺通キャンパス

薬学研究科・薬学部



北千種キャンパス

芸術工学研究科・芸術工学部



名古屋市立大学病院



医学部附属東部医療センター



医学部附属西部医療センター

■お問い合わせ



名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(事務局大学管理部企画広報課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL : 052-853-8806
Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

